



平成 29 年 4 月 18 日

記者説明会（4月21日13時30分・霞）のご案内

日本初！国際リンパ浮腫治療センターを開設

広島大学病院では平成29年4月1日、新たに「国際リンパ浮腫治療センター」を開設しました。「国際リンパ浮腫治療センター」では、医師、看護師、理学療法士など多職種が連携し、集学的治療を行います。リンパ浮腫発症予防のための個別の指導や啓発活動を行います。罹患した患者さんに対しては、専任の医師の指導の下に看護師、理学療法士などにより複合的保存的治療を実施します。また、手術対象の患者さんに対しては、リンパ管静脈吻合術など手術的加療とともに保存治療を行います。

これまで「リンパ浮腫は治らない」とか「保存療法でも浮腫が増大した例にのみ外科療法を行う」という考え方が一般的でした。近年では、圧迫療法を併用する外科治療としてのリンパ管静脈吻合術や早期のリンパ管静脈吻合術の有用性が数多く報告されています。さらに、血管柄付きリンパ管（節）移植術など新たな術式の報告もあり、リンパ浮腫は「治る」病態へと変化しつつあります。

つきましては下記のとおり、記者説明会を開催し、「国際リンパ浮腫治療センター」についてご説明しますので、ご出席いただきますようご案内申し上げます。

記

日 時：平成 29 年 4 月 21 日（金）13 時 30 分～14 時 15 分

場 所：広島大学病院 臨床管理棟 2F 2F1 会議室

出席者：広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター長 光嶋勲特任教授

国際リンパ浮腫治療センター 吉田周平助教

*リンパ浮腫とは、乳がん、子宮がん、卵巣がん、前立腺がんなどの治療後に起こる後遺症の一つです。がんの外科手術でリンパ節を切除してしまったり、放射線治療でリンパ液の流れが悪くなったりして起こります。リンパ浮腫は、腕や脚が白っぽくむくむことが多いのが特徴で、水分による一般的なむくみと違い、タンパク質の濃度が高いねっとりした水分が腕や脚にたまった状態です。



手術前と手術後（42歳女性）



手術前と手術後（21歳女性）



手術の様子

<内容に関するお問い合わせ先>

広島大学病院国際リンパ浮腫治療センター 光嶋・吉田
Tel : 082-257-1984 FAX : 082-257-6985
E-mail : yoshidas@hiroshima-u.ac.jp

<記者説明会に関するお問い合わせ先>

広島大学病院特命広報・調査担当役 菅川幹人(すげかわ)
Tel : 082-257-5418 FAX : 082-257-5087
E-mail : byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp

【FAX返信用紙】

Fax：082-424-6040

広島大学財務・総務室広報部広報グループ 行

記者説明会のご案内

日本初！国際リンパ浮腫治療センターを開設

日時：平成29年4月21日（金）13時30分～14時15分

場所：広島大学病院 臨床管理棟2F 2F1会議室

出席者：広島大学病院 国際リンパ浮腫治療センター長 光嶋勲特任教授

国際リンパ浮腫治療センター 吉田周平助教

ご出席

ご欠席

貴社名 _____

部署名 _____

ご芳名 _____ (計 名)

電話番号 _____

※お手数ですが準備の都合上、出席予定の報道機関の方は上記にご記入頂き、
4月20日（木）17：00までにご連絡ください。

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）